事業番号 011

						争耒俄芍	0115
			行政	事業レビュ-	ーシート	(文部	(1)科学省)
予算事業名		学校予算の効果的な配分・活用方法に関する 調査研究		る 事業開始 年度	平成2	21年度	作成責任者
担当部局庁		初等中等教育局		担当課室	財	務課	財務課長 伯井美徳
会計区分		一般会計		上位政策	地域住民	地域住民に開かれた信頼される学校づくり	
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		_		関係する計 画、通知等	〇教育振興基本計画(平成20年7月1日閣議決定) 〇規制改革会議第3次答申(平成20年12月22日規制 改革会議決定) 〇教育再生会議 第三次報告(平成19年12月25日)		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)		中央教育審議会「新しい時代の義務教育を創造する」(答申)において、「地方・学校の主体性と創意工夫で教育の質を高める」ために「教育内容に関する学校の裁量を拡大するとともに、予算面で、学校の企画や提案に基づいた予算の配分や、使途を特定しない裁量的経費の措置など、学校裁量の拡大を更に進めることが必要」とされたことも踏まえ、特色ある学校づくり・信頼される学校づくりに資するよう、学校予算の効果的な配分・活用方法について検討を行う。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)		特色ある学校づくり・信頼される学校づくりに資するための学校予算の配分・活用のあり方について、市町村教育委員会に委託し、以下の観点から実践的な調査研究を行う。 ・学校の特色づくりや信頼される学校づくりへの有効性の評価・検証 ・各学校のインセンティブを高める上での公平さ・適正さの評価・検証 ・教育の格差が生じないよう十分な配慮がなされているかの評価・検証 ・学校裁量予算・学校提案予算の効果的な活用にかかる評価・検証 ・児童生徒数等に基づく予算(資源)配分の在り方の評価・検証					
実施状況		上記調査研究を新潟県長岡市、宮崎県小林市に委託し実施					
			19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
予算の状況 (単位:百万円)		予算額(補正後)			3.5	0	
		執行額			1.6		
		執行率			45.4%		
		総事業費(執行ベース)			1.6		
自己点検	支出先・ 使途の把 握水準・ 状況	委託先からの事業計画書を基に事業を実施。また、年度途中で本省職員が必要に応じて行う実態調査において事業 の進捗状況及び使途の把握を行う。					
検	見直しの余地	事業の必要性、効果等を厳格に検証し、本事業を平成21年度限りで廃止。					
チームの所見の所見を	この事業については、予算の重点化・効率化を図る観点から、平成22年度予算においては、発展的に他の事業に転換している。						
補記							

文部科学省 1.59百万円

「特色ある学校づくり・信頼される学校づくりに資するための学校予算の配分・活用のあり方の調査 研究を委託

【公募·委託】

諸謝金 : 0.01百万円 職員旅費 : 0.04百万円 委員等旅費: 0.02百万円

を含む

A.学校予算の効果的な配分・活用に 関する調査研究事業 1.52百万円 小林市・長岡市(全2機関)

小林市 1.09百万円

長岡市0.43百万円

特色ある学校づくり・信頼される学校づくりに資するための学校予 算の配分・活用のあり方について、実践的な調査研究を実施

【再委託】

B: (有) ティーネットプロ 0.61百万円

学校運営費標準額データ入力作業

資金の流れ (資金の受け取

り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万円)

A.小林市 E. 金 額 金額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) (百万円) (有)ティーネットプロ 外部委託 0.61 データ入力作業業務委託 消耗品費 事業に関連した資料作成 0.22 パソコン借り上げ(資料作成及びデー 借損料 0.17 タ分析のため) 諸謝金 研究会議出席者への謝金 0.05 旅費 研究会議等への参加 0.04 計 1.09 計 0 B.(有)ティーネットプロ F. 金 額 金 額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) (百万円) 学校運営費標準額データ入力作 データ入力 0.61 費目·使途 (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出さ 0 計 0.61 計 れている者につ いて記載する。 C. G. 使途と費目の 双方で実情が 金 額 金 額 費目 使 途 費目 使 途 分かるように記 (百万円) (百万円) 載) 0 計 0 計 D. H. 金 額 金 額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) (百万円) 計 0 0 計